

人口と世帯

55.1.1現在

(前月比)

男 5,820人(+10)

女 6,150人(+16)

計11,970人(+26)

世帯数2,791(+5)

広報くにみ

発行/国見町役場

編集/企画課

福島県伊達郡国見町

大字藤田字一丁田二

2ノ1番969-17

電話藤田(024585)21111(内)

昭和55年1月15日

No. 79



威風堂々たる新庁舎

'80

1月

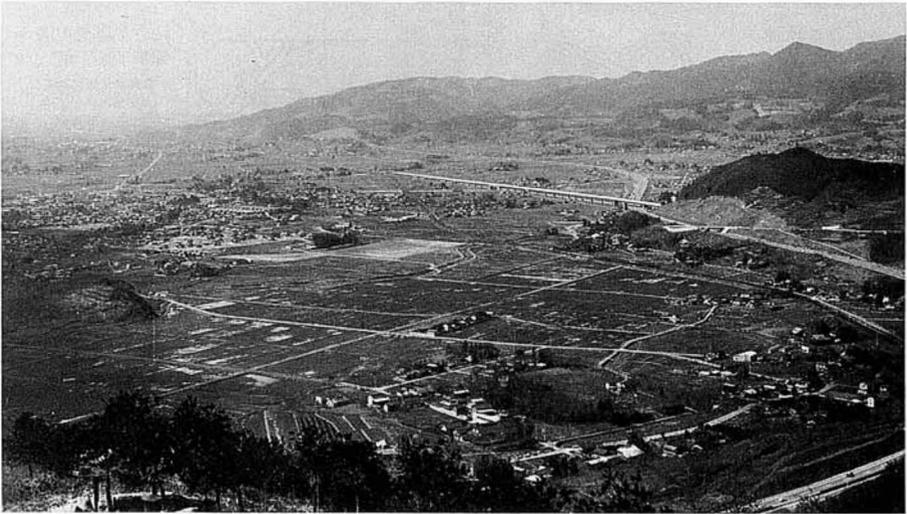
おもな内容

- 年頭にあたって(町長).....2
- 町民憲章で住みよい町に.....3
- 2月1日から成人病予防週間.....4
- あの人この人
(鶴田清作さん).....4~5
- 公民館だより.....6~7
- 渋谷さんの叙勲祝賀会.....8
- 第二次減反にご協力を.....9
- お知らせ.....10

80年代に躍進する国見町!

旧庁舎がすっかり取り壊され、白亜の近代的な新庁舎が、ひときわ大きくその全貌を現しました。

建物の立派さもさることながら、開放庁舎なので事務室内が広々として使いやすく、内外の評判も上々です。80年代に伸びる国見町にふさわしい庁舎といえるでしょう。



年頭にあたって

国見町長 佐藤善右門



明けましておめでとうございます。いよいよ一九八〇年がやってまいりました。私たちの国見町は

一昨年の宮城県沖地震に際し、県内ではただ一カ所の犠牲者が出たほどの激甚地でありました。このことから昨年は地震災害復旧の年でありましたが、幸い町民のみな

街さんは不撓(とう)不掘の精神を市発揮され、見事に復興されておりますことは誠に同慶の至りであり

りです。また、役場庁舎も災害復旧事業で改築中でありましたが、さる十月一月末に完成し、十二月五日より

新庁舎で執務を致しております。ほ場整備も第四・五工区の事業

に入り、面的整備については四工区の一部を残すのみとなりました。線の工事については相当の事業量が残されており、事業促進に意を

注いでまいりたいと思っております。水田利用再編対策については、

農家のみなさんのご協力を得て五十四年度も無事目標を完遂しましたが、五十五年度はさらに一層きびしくなりました。水田利用再編対策の本来の目的を十分ご理解いただき、目標完遂にぜひご協力を

いただきますようお願い申し上げます。また、五十五年度には、延期していた小坂小学校の改築をはかりたい考えであり、現在、その前提要件について努力中です。関係者の特段のご協力を願うものであります。

一九八〇年代は地方の時代といわれております。町政の殿堂である新庁舎の落成を契機として、真に「地方の時代」にふさわしい新たな展開の指針とするため、町民憲章を制定し、また、町のシンボルとなる町の花、町の木、町の鳥を選び、希望にみちた町づくりを町民みなで創り上げたいと思

います。すでに花、木、鳥の応募要領など戸別に配布しておりますので、多数ご参加くださるようお願いいたします。私も町勢伸展のためにますます懸命の努力を致すつもりでありますので今年もよろしくお願い申し上げます。

町民みなさまのご多幸をお祈りいたします。

町民みなさまのご多幸をお祈りいたします。

明けまして
おめでとうございます
今年もよろしくお願
い
申し上げます

町長	佐藤 善右門
助役	秦 三郎
収入役	奥山 忠雄
教育長	遠藤 金六
総務課長	渡部 直人
住民課長	佐藤 知子
保健課長	渡辺 等
税務課長	八島 忠雄
建設課長	武田 喜男
産業課長	大内 正美
水道課長	大津 隆男
公民館長	吉田 貞造
企画課長	赤坂 正勝
外職	職員 一同

町民憲章で住みよい町に

みんなの意見を取りまとめ中

町では、このたびの庁舎の改築を機会に、町民の心よりどころとなる憲章の起草と、町のシンボルになるような花・木・鳥を選定することになりました。

私たちのふるさと国見町は、古い歴史と美しい自然を背景に豊かにはぐくまれてきました。これらを守り、生かされ、さらに希望にみちた住みよい町づくりのため、一人ひとりが町民憲章を育てること

が大切です。町民憲章やシンボルの花・木・鳥はそれらの指針となるといえるでしょう。

町では、この制定にあたり昨年町民憲章花木鳥制定委員会を設置し作業を進めておりますが、原案

作成にあたっては町民みなさんの考えを反映させたものにしたいと思っております。

つきましては、町民憲章で特に重視してほしいものに次の中から五つだけを選び、その番号を○で囲んでください。

なお、意見取りまとめについては各部落長さんにお願ひしてありますので、家族みなで考え、一月二十四日まで班長さんにお渡しくださるようお願いいたします。

1 親切でやさしい心、たすけ合いのある町
2 産業発展のある働きがいのある豊かな町
3 健康づくり、安全対策のある町
4 文化や教育を大事にする町
5 自然を保護し美化する町
6 子どもや老人、めくられない人々を大事にする町

7 工夫をこらし、力強く発展する希望のもてる町

8 郷土を愛し、よい伝統を大事にする町

9 さまじりや公德心を重んじる町

10 その他重視してほしいご意見がありましたら書いてください。

イ.....
ロ.....

町の花、木、鳥 を選ぼう

1月25日までハガキで応募を

豊かなみどりとし美しい花に囲まれた、明るく住みよい環境をつくるため、町の花、町の木、町の鳥を制定することになりました。次の要項で募集しておりますので、ぜひ意見をお聞かせください。

応募方法

○官制はがきに一人一枚、期待や希望、願望などの意が含まれて

いる花、木、鳥をそれぞれ一つを書いてください。

㊦町に栽培、または繁殖している花、(例) 福寿草、コスモス、桃、つばき、ふじ.....

㊧町に植樹、または生えている象徴的な木 (例) 赤松、けやき、もみじ、なら、かし.....

㊨町に棲息する鳥 (例) ウグイス、ホトトギス、モズ、ヒヨドリ、キジ、ツグミ、セグロセキレイ、コガラ.....

969-17、 国見町藤田字丁田二ノ一
国見町役場内
町民憲章花木鳥制定委員会御中

表 例 載 記 裏

・花 福寿草
・木 赤松
・鳥 ウグイス
住所 国見町藤田一丁田二
氏名 藤田太郎
年齢 二十歳

しめ切り
○一月二十五日

※採択者には記念品を差し上げます。

税の相談は

お気軽に

今年も増与税や所得税の申告時期が近づいてきました。所得や税額の計算などで相談したいこともあるでしょう。

こんなときは気軽に次の窓口をご利用ください。

◆ 税務相談室

国税局の税務相談の窓口として福島税務署内に「税務相談室福島分室」(〇二四五〇四八一)が設けられています。

税務相談室には、知識や経験の豊かな相談官が配置され、税金についての相談や苦情に対して、親身になって、その回答や解決に当たっています。

受験期の健康心得

本宿先生がNHKに
(藤田病院院長)

受験期を前にした健康心得について公立藤田総合病院院長の本宿先生が1月24日(木)NHKテレビでお話します。

時間は午前7時20分から7時35分(再放送は午後1時25分から1時40分)までです。家族みなでご覧ください。

健康の“定年”
成人病

体力つくりで 健康の“定年延長”

二月一日から成人病予防週間

脳卒中、がん、心臓病、糖尿病などの「成人病」がいま、日本人の命をむしばんでいます。その死亡率は、わが国の死亡総数の六〇%以上を占めるありさま。しかも成人病は、一家の支柱である働き盛りをねらって襲うところじつにわざがあるのです。二月一日から始まる「成人病予防週間」を前に「スポーツによる成人病予防対策」を特集しました。

カロリーの「収支決算」をお忘れなく

「やせている人は肥えている人よりも死亡率が低く、反対に肥満者は普通の体重の人より、三〇%も死亡率が高い」——これはある生命保険会社が三十二歳から四十九

歳の男子保険加入者二百万人を対象に、体格と死亡率の関係を調査した結果です。

この事実「肥満者は成人病にかかりやすい」ことを示しています。ですから成人病予防対策の第一歩は、がんにおける早期発見の問題は別にしても、ウエイト(体重)コントロールからといっても決して過言ではありません。

体重は摂取するカロリーの差で増減しますので、いわゆる「中年太り」はこのバランスが崩れるところから始まるわけです。といったい、なぜ崩れるのか。それは年をとると細胞の新陳代謝が



低下する一方、体温も低くなり、その結果、一日に消費されるカロリーは同じ生活を送っているも年とともに少なくなるからです。

それともうひとつ、中年になる運動量が青年時代に比べてぐんと減りますから、カロリーの「収支決算」はバランスを崩しやすくなるのです。いわば「収入」が増えて「支出」が減る——それが「肥満」という名の恐ろしい「貯金」につながっていくことをお忘れなく。

「肥満大敵」

成人病の「元凶」の一つである肥満を防ぐには、どうしたらいいのでしょうか。

それは、カロリーの「収支決算」のバランスを保つこと、つまり「貯金」をつくらないために、食生活では適正なカロリー摂取を心がけ、また余分なカロリーを運動によって使っていくことです。では、中年太りを防ぐためにど

ジョギング(緩走)	30分
テニス・バドミントン	35分
歩行	60分
ゴルフ	55分
自転車(平地)	70分

さて、この二百カロリーの消費は、わたしたちの体にとって具体的にどのような影響があるのでしょうか。

カロリーの消費とは、皮下脂肪などの脂肪組織が燃焼することを意味します。そして、脂肪一グラムの燃焼は約七カロリーの相当しますから、一日に二百カロリー消費するということは脂肪に換算すると約三十グラムが燃焼(減少)することになるわけです。

「たったの三十グラムです。——と思われませんか、一年間の合計では、なんと約十キログラム相当の「減量」になるのです。一日二百カロリーで一年間に約十キログラムの肥満が気になる方は、一度挑戦してみませんか。



29

町で初めて統計知事表彰を受けた

鴨田清作さん

昨年十一月十四日、郡山市で開催された福島県統計大会において、鴨田清作さん(内谷字西31)は、統計功労者として県知事表彰の栄誉に輝いた。知事表彰は過去に県統計協会会長表彰を受賞した五十五歳以上の方に贈られるものだが、今回、県内では八人、国見町では初めて受賞者となった。

統計調査のことは、今までいろいろ苦労し、何度もやめたいと思ったが、ずっと続けてきてほんとうによかった」と感慨も深いものがある。

鴨田さんは町合併以前の小坂村時代から今日まで統計調査の調査員として従事、毎年行われた農業基本調査をはじめ、五年ごとに行

われた大規模調査である農業センサスや国勢調査などあらゆる統計調査を手がけてきた。合併以前の状況は残念ながらわからなくなってしまうが、鴨田さんはそれ以後だけでも農業基本調査が昭和二十八年から毎年二十回、農業センサスが昭和三十年から五回、国勢調査四回、果樹基本統計調査一回、就業構造基本調査、農家台帳調査作製がそれぞれ一回と、三十年にわたって計三十三回の調査を担当してきた。

特に農業基本調査は農家全部を対象に昭和四十八年から毎年続けられ、しかも経営内容から作物の収穫高など細かいところまで立入り、くわしく調べなくてはならぬので苦勞も多かったよう

だ。「調査が二

月一日現在でやるのでたいがい雪が
 かんじきはいて夜、調べに出かけ
 るのだが、税金が取られるといっ
 てなかなか内容をおしえてくれな
 い。寒いところで待っているの
 万年筆のインクは出なくなるし、
 昔は電気が暗かったからね。小
 さい字は見えにくくて……。現在
 できえも統計調査は税金とは全く
 関係がないといつてもなかなか



かつてもらえないのだから、昔は
 なおさらのことだろう。
 「やっぱりそのことが一番たい
 へんだつた。しかも、ちょうど時
 期が税金の所得申告の前なので、
 どうしたってほんとうのことを言
 つてくれな。その上だんな様が
 るすの場合がダメ。で、一軒の家
 に二回、四回と足を運ぶことも」。
 統計調査員は何よりも地域の人

県統計大会開かれる

鴨田さん、佐久間さん
 菅野さんが表彰

十一月十四日、第二十九回福島
 県統計大会が郡山市で開かれ、わ
 が町からは佐藤俊雄町統計協議会
 会長をはじめ四十八人の調査員が参
 加してきました。この席上で、統
 計功労者として、知事表彰に鴨田
 清作さん(内谷西)、県統計協
 会長表彰に佐久間英明さん(鶴町)、

々の信用が必要。あの人ならほん
 とうのことを言っても大丈夫とい
 う信頼が正確な情報となり、かけ
 がいのないデータとなる。
 今年は、国の大きな調査を二つ
 控えている。来年も二月に実施
 される世界農林業センサス、十月
 の国勢調査である。いずれも町の
 統計調査員が総動員で担当。これ
 らの結果は、八十年代の日本の動
 向の大きな指針となる。
 統計調査は、地味で根気がいり、
 日の目を見ることは少ない。しか
 し、その重要性は言うまでもない。
 わが町では、昭和五十一年、統
 計調査員協議会(会長佐藤俊雄さ
 ん)が発足。会員八十二名が組織
 的に活動し、いろいろな統計調査
 に従事している。その中で鴨田さ
 んはもつとも経験の深いひとりと
 して、若手会員の指導に力を入れ
 ているリーダーである。
 大正二年六月二十三日生まれ。

菅野一英さん(山崎北)がそれぞ
 れ表彰されました。
 県統計大会は、統計調査の向上
 と発展を目的に、県内各地の調査
 員をはじめ関係者多数が参加して
 毎年開かれているものです。
 表彰された方々には、今までの
 労をねぎらうとともに、今後また
 ますのご活躍を期待しています。

正しい
 敬語



手紙での敬語

“折り目正しさを
 忘れずに

目上の人への手紙や改まっ
 たあいさつ状などでは、親し
 い友人の間で取り交わす気楽
 で自由な手紙と違って、言葉
 遣いを丁寧にし
 つ十分な敬意が
 伝わるよう心を
 配ることが大切
 です。
 「皆様にはお
 変わりもなくお
 過ごしのことと
 存じます」
 「厚く御礼申
 し上げます」
 「両親からも
 くれぐれよろ
 しくのことと
 存じます」
 このように、「存じます」「ございま
 す」などの文体は折り目正し
 「申し上げます」「ございま
 す」などの文体は折り目正し

さを生み出します。
 手紙の書き出しは「拝啓」
 や「謹啓」で初め、時候のあい
 さや安否のあいさつの後用
 件に入るのが最も一般的です。
 女性の手紙では「梅の花も
 ほころびざしものとごなく
 春めいてまいりました」など
 と時候のあいさ
 つから始めるの
 が多いようです。
 返事の場合には「拝復」や「お
 便りうれしく拝
 見いたしました」
 のようになりま
 す。
 また「前略」
 として直ちに本
 文に入るものと
 急ぎの用事のと
 きなど便利な書
 き方です。この
 場合の結びの言葉は「敬具」
 ではなく、「草々(匆々)
 にお、面識のない人に初め
 て出す手紙には「突然お手紙
 を差し上げ失礼の段お許し
 ください」というようなあいさ
 つの言葉が必要でしょう。



国見町公民館
電話 (西) 2676
(南) 4156

ご成人おめでとう

今年成人式を迎えられた百六十名のみなさん、おめでとうござい
ます。今の気持ちを忘れて、勇気を持って強く生きてほしいと思
います。

ここに成人者を代表して、五名の方の感想文を紹介いたします。

悔いのない生き方を

川内字内上9
鈴木貞子

二十歳、まだまだ子供であり、
親のすねをかじっている私にとっ
てはとても実感としては感じられ
ないのですが、この機会に考えた
ことを書かせて頂きます。
人生について語るにはあまりに
も経験が少ないためまだ未熟
なのですが、「悔いの残るような生
き方はしたくない」というのが私
の信念です。他人に振り回されな
いように自分を「つかり見づめる
こと」私は私なんだという確固
とした信念を持ち、自分らしく生
きることを、とてもむずかしいこ
とですね。時として自分の欠点ばかり
が見えてきて、自分は何てだめ

な人間なんだなんて思ったことあ
りませんか。でも自分のことを本
当に考えている人は他人のことを
も大切に考えているんだと、友人
に勧められたことがあります。

高校の時のある先生が、最後の
授業にいい話をしてくれました。
「案外方々苦しい方のどちらかを
選択する時、絶えず苦しい方を選
びなさい。そうすれば絶対あとで
自分のプラスになることが多いか
ら」。人間って楽なこと、楽しい
ことを遊びがちなんですよね。こ
れが人間の心情ですから。このこ
とばを実行するなんてとてもむず
かしいと思いますが、忘れないう
ちにおくといいと思います。

最後に、看護学生として病院実
習に出て感じたことは、健康人の
持つ悩みなんてぜいたくだという
ことです。治療の見込みのない患

者さんから見たら、健康であるこ
とさえうらやましいのです。何で
もできるという可能性を持つてい
るのですから。
二十年間、私を取り巻いてくだ
さった方々に感謝いたします。

人生は今から始まる

西大枝字中屋敷13
佐藤良子

「成人式、それは自分の置かれ
た立場をよく理解し、責任の重さ
をよりいっそう自覚することでは
ないでしょうか。未熟ながらも、
その一員に加わる年齢に達したの
かと思うと、月日のたつのがこん
なに早いのかとさえすにはいら
れません。両親や、周囲の温かい
愛情と援助の中で、今まで成長し
てきた私は幸せであると同時に感
謝の気持ちでいっぱいです。

私も社会人になって早くも二年
目が過ぎようとしています。社会
のきびさき、少しは身をもつて
味わってきたように思います。職
場の人間関係において悩んだこと
もありました。そんな中で、私は
「忍耐力」を養ったような気がし
ます。「耐えること」これは社会
生活において最低条件だと思いま
す。

「二十歳」――未来があり、自
分の夢をつかめそう、すべてに
可能性があるような気がします。

「人生は今から始まる」そんな気
がします。

これからは社会人として秩序を
わきまえて、責任ある行動をとつ
ていきたいと思えます。仕事も感
覚をもってキラアーマンを思
ざしてがんばっていきたいと思
います。

最後に一言、いいたいことがあ
ります。成人式を迎えるまでに成
長できたことは、先生方や周囲の
方々、それにもまして両親には深
く感謝しています。ありがとうございました。

的確な判断力

山崎字中島13の3
大波浩一

十二年間の学生生活を終え、一
般社会に出てはやや二年が過ぎ、も
う成人式を迎えると思うと感慨深
いものがある。

十代といえば、つかみどころの
ない毎日不安を感じていた。も
つとも、今現も不安な毎日では
ある。これからも、この状態は続
くにちがいない。生きていく限り
そのなかのかもしれない。
この二十一年間は、私に何らかの
さまたまな喜びや苦しみをもち
ました。すなわち、私に何らかの
ずやけになったこともしばしば。
そして、自己嫌悪に陥り、現実の
自分の未熟さや感かさが浮き彫り

冬のスポーツ教室

◎町民スキー教室



期日 55年2月17日(日)
会場 白布高湯 天元台スキー
場

定員 四十名
経費 二、〇〇〇円
集合 午前六時 町公民館
申込み 2月14日(木)まで公民
館へ

◎バドミントン教室



期日 55年2月8日、15日
会場 町体育館
時間 午後7時30分～9時
対象 どなたでも参加できます。
経費 無料
申込み 2月4日(月)まで公民
館へ
定員 三十名
内容 基礎から応用まで(審判
も含む)

になる。反面、その中で見つけた喜びもたくさんあった。

こうした喜びが苦しみもすべて、他人とのかわり合いの中で感じることであった。社会的に大人として認められたこれからは、ますます他人とのかわり合いを無視して行くことはできなくなる。むしろ、今まで見ずにすんだ部分まで目に入れば、次第に今までは違つた判断力に対応できるようになるに違いないと信じている。

今、成人式を迎えるにあたり、私には現在があり未来がある。いつでもどんな時でも広い空間の中へ飛び込んで行ける可能性を持っている。二十歳になった今、その素晴らしい人生を、後悔のない有意義な日々として築きあげて行きたいと思っている。

出会いを大切に

森山字行人壇14の2

実 沢 幸 子

は、たち。それは私の人生において一つの終止符であり、出発である。

今までの私には、何をしても一種の甘えがあったし、いつも回りの人が助けてくれ、それに自分も満足していた。でも二十歳になった今、回りの人は「はたちなんだから……」と急に大人扱いをしま

す。きのう十九歳できょう二十歳、一日でそんな自分が変わるはずはありません。でも二十歳になって八月が余り。自分の中では、たゞを意識させられたことが幾度かあります。

まず一つは、初めて選挙権を手にしたときです。今まで選挙というところ「あ、またうるさくなる」なんてことだけで興味もなく、「早く終らないかなあ」と思っていたのが、選挙カーが来る度に気になっている自分があるのです。

次に、「年いくつですか」「はたちです」そんな会話の中にも、「ああ私ははたちなんだなあ」と考えることがあります。

つまり、二十歳になった私にはいやおおなしに、責任、ひとり立ちなどの言葉のしかかってくる。でもそれを自分の体で背負って、今までと違つた新たな自分を見つめるために、はたちになったことに自信を持って、これからのいろいろな「出会い」を大切に自分の道を切り開いて行けるようにならば行って行きたいと思えます。

努力を忘れずに

森山字壇ノ前24

石 川 博 利

この世に生をうけてはば二十年という月日がたつたわけです。今私が生まれたときの感動がまざま

ざと思い出せます。まさか……！）冗談はさておいて、私は私なりに二十年間を生きてきたわけですから、短いと言え短い、長かつたといえ長かつた。いや、長い短いとかによりも、その間に自分は何をしてきたのだろうか。はつきり言え

ばただ単に親に養われ、やつと自分の人格というものを持ちはじめたばかりである。そして二十歳。これからは社会という集団の中で自分の義務、権利を果たすことにより、自己の主張を公の権利として認められるのだと思う。

成人式を迎えたからといって今までの自分が急激に変わっていくはずはない。変える必要もないと思う。しかし今までは未成年とい

うことで甘えがあったと思う。人間なら今からを大切にしていけばいい。過去を忘れるのではなく、それを踏まえたうえで過ちは正しいことには全力を尽くす。

「成人式なんて……」などという人がいるが、それは自分というものが社会にまだ通用しないのではないかという不安さからくるのだと思う。しかし、成人式というものを一つの転機としてこれから生きていくことをいっても反省の種をつけない毎日である。少しでも生きていくことはむずかしいものだと思う。だからこそ努力というものも意義あるものになるだろう。成人式にあたってそんなことを思った。

あつがし俳句会

昭和五十四年十二月二十一日

- * 新年の半山を押しけり 奥山 甲二
- * 冬山の沈黙の威に對しけり 斎藤黄鶴樓
- * あくせくと移りて吹く年の暮 熊田 一陽
- * 無造作に煙草輪に吹く年の暮 藤田 勝衛
- * 冬木立あえぎあえぎの登り道 野村たかし
- * 寒や今朝まぶたのうらに妻未だに 加藤 痴仏
- * 裏堀に流れたまりし冬菜屑 佐久間山月
- * 高速道追いかけたくる枯尾花 須田 泰山
- * 暖冬の朝日に若し半山 小野寺篤水
- * 剣路より大新巻の届きけり 阿部 亨司
- * 寒椿きりりとかき朝かな 阿部 亨司
- * 老の身を肩まで浸す柚子湯かな 阿部 亨司
- * 手ばなせぬ齡とはなりぬちやんちやんこ佐藤 國樞
- * 書院まで朝日さしこむ冬至かな 高橋 涌水
- * 寒(あしなえ)の行く道暗し冬がすみ羽 えい
- * 地のままに生きる安きよ花ハツ手 藤沢 秋子
- * 夢なりて木の香かよわし花が新居 原田 和喜
- * 温めて五十路葉ふ柚子湯かな 角田 昭子
- * 山茶花や日向に母を喜ばす 鈴木 幸子
- * したためし賀状重ねて更くる夜半 高橋 仙子
- * 静けさやさくら落葉のひらひらと 熊田 高枝

その他の事業計画



- 2月10日 伊達地方バドミントン大会(国見町)
- 2月24日 町民卓球大会(町体育館)
- 3月9日 公民館長杯バレーボール大会(町体育館)
- 3月16日 国見桑折マラソン大会(桑折町)
- ※公民館、体育協会、地区スポーツ振興会各機関にそのつと実施要項がありますのでお問い合わせください。

二〇%近い配分率

第二次減反にご協力を

昭和五十三年から約十年間の長期事業として始まった水田利用再編対策、いわゆる第二次減反は、五十五年度までの三カ年を第一期として進められてきました。

その結果、この二期間ほぼ場整

備夏期施行分があつて、また、農家の方々と農業団体、部落長などのご協力により目標を達成することができました。

しかし、五十五年度からは、ほ場整備がほぼ完成したことで、よつてその分がなくなり、各農家への

新たな負担がせまられてきました。最近の米の需給は、消費が減る

一方で生産力の向上が予想以上に進み、古米の在庫量は国民消費の十月分分の六百五十万トンにも達しています。

このような状況のなかで、昨年十一月十九日、県より町に対して昭和五十五年度目標面積九十六・八・八トンの配分を受けました。これは昭和五十二年度の当初目標の一四八%であり、三十一ヘクタール増です。

この転作目標面積はわが町の水田作付面積の一四・五%にあたりますが、これに第一次減反で永年転作をし五年間の奨励期間が経過した三十一ヘクタール分を加えると、実際の農家の配分率は二〇%近くなる予定です。

これはたいへん厳しい減反制当といえますが、町としては米が町の農業の基幹作物であることを考え、将来にわたって農業経営の安定を図るには、米の過剰を防止し、食糧制度を堅持していくことが必要と考えました。この観点に立つて検討を重ねた結果、やむを得ないものとし、これを受けることになりました。

昭和54年度歳末助け合い募金配分内訳書

目標額 900,000円
実績額 1,022,157円 繰越金 7,404円

種 別	配分金額	対象者数
被保護世帯見舞金	136,000円	33世帯 96人
要保護世帯見舞金	247,000円	45世帯 162人
就学途児家庭見舞金	90,000円	30世帯
交通途児家庭見舞金	6,000円	2人
腎臓機能障害者見舞金	18,000円	6人
不遇児(者)見舞金	3,000円	1人
特別児童扶養手当受給者見舞金	9,000円	3人
わたさき老人見舞金	123,000円	41人
1人暮らし老人見舞金	87,000円	29人
在宅重度心身障害者見舞金	126,000円	42人
長期結核入院患者見舞金	15,000円	5人
精神病院入院患者見舞金	60,000円	30人
老人福祉施設入所者見舞金	36,000円	18人
救護施設入所者見舞金	6,000円	3人
精障児(者)施設入所者見舞金	20,000円	10人
身障児(者)施設入所者見舞金	8,000円	4人
養護施設入所者見舞金	2,000円	1人
計	992,000円	303世帯 453人
緊急配分準備金	37,561円	
合 計	1,029,561円	

町としても今後は、国や県に対して転作条件上の整備や転作物の価格保証や流通対策上の改善について強く要望していく考えです。また、地域の特性に応じた生産性の高い農業の振興が図られるよう諸施設を総合的に進めていくつもりです。多くの困難と苦勞があると思いますが、水田利用再編対策の趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

なお、一月中に国見町水田利用再編対策推進協議会を開催し、個人配分基本方針と転作の取り組み方法を決定して、二月中に各農家に転作面積を通知いたします。

善意の窓

- 歳末助け合い募金
- 国見電子(株) 益我愛好会(会)
- 長佐藤孝夫 一万四九二〇円
- 県北中学校生徒会(会長瀬戸正宏)
- 牧野純子さん 二万八三〇七円
- 藤田字日渡三、七、〇〇円
- 野田善実さん 塚野目字金屋、二二、一〇〇円
- 国見町役場職員クラブ、国見町職員労働組合 二万二五〇〇円
- 町社会福祉協議会へ
- 福島消費組合生協国見店 三万九六九五円

カッポル誕生

- 十一月中に届けられた方(敬称略)
- 氏名 部落
 - 実沢 正雄 泉田中
 - 実沢カツエ 第九
 - 中村 和子 山崎小館
 - 佐藤 浩康 川内
 - 佐藤 幸子 桑折町
 - 熊坂 弘 太田川
 - 岩谷 桂子 保原町
 - 菊地 勝芳 石母原
 - 菊地 和子 福島町
 - 武田 正三 梁島市
 - 武田 友江 貝田
 - 武田 喜健 駅前
 - 太田とみ子 青森市

健康相談に応じます

健康について不安や心配のある方、お気軽においで下さい。

- ◎とき 第二、第四金曜日 午後1時30分～3時30分
- ◎ところ 役場保健室
- ◎相談員 町保健婦

ごみ収集を民間委託に

昭和三十九年から町直営で行ってきたごみ収集業務を、一月から民間収集業者、太田川部落の国見ゲザイ(代表熊坂惣五郎さん)にその業務全般を委託することになりました。これは、明るくきれいな町づくりのために、より効率的な収集を図っていくことをねらいとしており、みなさまには今まで同様のご協力を賜われますようお願いいたします。

お知らせ



暖房温度は、19℃

婦人がん検診

次の日程で子宮がん検診を行います。女性の子宮がんのなかつても多いのは子宮がん、女性全がんのうち約3割を占めています。しかし、子宮がんは、胃がんや肺がんより完全な治療が行われやすいがんです。この機会にぜひ受けるようにしましょう。

- ◇期日 1月23日・24日
- ◇受付 午前9時～9時30分
午後1時～1時30分
- ◇場所 町公民館(センター)
- ◇申込み 1月22日まで役場保健課へ ☎2111

有4165

国の進学ローンのご利用を

国の財政資金を使って昨年スタートした進学ローン(進学資金貸付制度)が、本年度も融資枠を大

幅に拡大して、四月まで申込みの受付を行っています。融資の条件は次のとおりです。でご利用ください。

借受人の資格
大学、短大、高専、高校などを今春受験する生徒の父兄で、年収五百万円以下の方
資金の使途
進学のために必要とする資金

(入学時に学校へ納める一時金や受験の際の受験料、交通、宿泊費、下宿やアパートの資金などすべての費用)
貸付限度額
五十万円以内

利率
年八・〇%(予定)
返済期間
進学する学校の修学年限内(大学四年、高校三年など、一年以上の措置も可也)

返済方法
元利均等毎月払い(ボーナス時増額返済も可)

保証人
一名以上(収入があれば家族でも可)

取扱窓口
国民金融公庫、銀行、信用金庫、農協など
その他
くわしくは国民金融公庫福島支店へ(☎福島2312341)

働きながら 技能士に

この講座は生産現場で働く方々に技能の裏付けとなる専門知識を与え、能力の向上を図るための職業訓練法に基づく一級および二級

おめでとうございます

- | | | |
|-------|-----|-----|
| 父の氏名 | 子の名 | 部落 |
| 佐藤 精市 | あゆみ | 泉田中 |
| 石ヶ森文二 | 真由美 | 石母田 |
| 斎藤 正二 | 真田 | 源奈山 |
| 遠藤 廣 | 一輝 | 駅前 |
| 佐藤 実健 | 一原 | 町 |
| 遠藤 政重 | 康幸 | 光明寺 |
| 徳江 賢一 | 賢治 | 第二 |
| 佐藤 武夫 | 佳奈子 | 第二 |
| 齋藤 武徳 | 靖子 | 貝田 |
| 菊地 博正 | 明美 | 第十 |
| 大波 芳一 | 圭 | 第九 |
| 齋藤 松雄 | 千草 | 山根 |
| 稲尾 末蔵 | 尚美 | 前田 |
| 玉手 忠七 | 友子 | 中部 |
| 八巻 照之 | 絵理子 | 徳江北 |
| 新妻 正夫 | 佐江子 | 源奈山 |
| 村木 幹雄 | 貴紀 | 板橋 |
| 鈴木 光雄 | 桂子 | 大坂 |
| 安藤 正晴 | 早紀 | 前田 |
| 菅野 清 | 夕史 | 内容東 |
| 松浦 健治 | 秀則 | 石母田 |

編集日記

技能士訓練過程の通信講座です。
募集科
(一級) 機械加工科、仕上科、板金科、配管科
(二級) 機械科、仕上科、製かん科、板金科ほか二十四科
受講期間
一、二級とも一カ年(受付は随時)
受講料
一級八千円、二級六千円
特典
技能検定職種(学科試験が免除) ※くわしいことは左記へお問い合わせください。
千九六〇 福島市三河北町七ノ一四
雇用促進事業団、福島総合高等職業訓練校 ☎三四一三七一六

おくやみ申しあげます

(氏名)	(年齢)	(部落)
後藤清四郎	75	小坂
佐藤 徳治	60	源奈山
佐藤 茂男	52	北部
佐藤 安一	77	石母田
佐藤 キヨ	76	第十二
高橋重三郎	66	第十一
大波 チヨ	83	第九
吉田 民蔵	87	第九
佐藤 興助	77	駅前
富田 新一	84	第十二
秦 徳郎	77	第十二
萬谷 博司	53	宮東

〇人生はあてどもない旅のようなものである。時には予期せぬ山や谷があつて道をさきざられたり、また、時には砂漠の中におアシスを見出すことだつてある。それが予期せぬものであればあるほど喜びも悲しみも大きい。しかし、その喜びや悲しみを越えて、なおかつ道を進むことが人間に与えられた使命なのだ。
〇また、旅にはいろいろな出会いがある。人との出会い、自然との出会い——新しい発見の喜びはその人の心に感動を与え、人生に生きがいを与えてくれる。しかし、この出会いは偶然と同時に、何かを求めている人の心がなくては起こらないものでもある。
〇前記は、読みかたりの雑誌から引用させてもらったものである。今年はこれをやろう、などと思つてもできないことが多いが、せめてハングリーな気持ちを忘れず「出会い」を大切にしていきたいと思ふ。
〇最後になりましたが、今年も何とぞ「広報く に み」をよろしくお願ひ申し上げます。